

# ふるさとの 誇り

其の14



法善寺



「武田晴信朝臣百首和歌」  
戦勝祈願文（法善寺蔵）  
武田信玄木像（時代不明、法善寺蔵）

## え恋

君恋ふる流の数は小夜衣  
重なる袖も今日は折ちなん

【信玄が詠んだ和歌】

## 武田氏ゆかりの古寺 法善寺（ほうぜんじ）

武田信玄をはじめとして数々の武將が活躍した戦国時代。市内にも戦国時代ゆかりの史跡や寺院が広がっています。その中で今回は武田氏との関係も深かった「法善寺」を訪ねてみます。

若草地区加賀美にある真言宗法善寺。法善寺は武田氏の氏神である韋崎市武田八幡神社の別当で神社の庶務を務め、も

ともと韋崎の武田郷にあったと伝えられています。一時廃れていたのを鎌倉時代、甲斐源氏の加賀美遠光が南アルプス市山寺へ再興し、遠光の孫、遠経が遠光の館跡であった現在地に移したといわれます。戦国時代、法善寺は武田氏が戦をする時に、勝利を祈願する寺院の一つでした。法善寺には、信玄が西（都）へ向かう間、越後（新潟県）の上杉軍が武田の領国へ兵を動かさないことを願った祈願文が残されています。

戦国武將としてのイメージが強い信玄ですが、その一方で文才にも優れ、和歌好きとしても知られています。若き日の信玄があまりにも和歌に没頭していたため、重臣の板垣信方からたしなめられた逸話が残されています。法善寺には永禄二年（一五五九）、武田晴信（信玄）直筆の和歌百首が納められました。惜しくも文化八年（一八二一）庫裡の火災のため焼けてしまいましたが、焼ける直前に書き写された

※庫裡(くり):住職が生活する住居

## 遺跡で散歩Vol 4. 戦国時代の史跡を歩く

市内に残る戦国時代の遺跡や史跡などの見所をまとめた散策マップが完成しました。各支所や図書館、道の駅で無料配布しています。

写本があり、文政三年（一八二〇）年に出版された木版本を見ることが出来ます。中には切ない恋心をつづった歌もあります。和歌からは人間味あふれる信玄をより身近に感じることが出来ます。

ちなみに信玄の六男、武田信清は名を玄龍と改め、法善寺において出家しています。この境内のどこかで、修行に励んだことでしょう。

生涯戦に追われた信玄、和歌を愛した信玄、さまざまな姿を思い浮かべながら、法善寺を歩いてみてはいかがでしょうか。

※法善寺を見学するには事前連絡が必要です。

☎(20822)16966